

A BRAND NEW CHAPTER @KOCHI
TOSABUSHI

とさぶし



No
37



TAKE FREE



知って、乗って、好きになる!

わが町の路面電車

とさでん



オーテピア
オーテピア



高知よさこい情報交流館
こうちよさこいじょうほうこうりゅうかん

高知県立美術館
こうちけんりつびじゅつかん

高知観光情報発信館とさてらす
こうちかんこうじょうほうはっしんかんとさてらす

高知駅前
こうちえきまえ

高知橋
こうちばし

蓮池町通
はすいけまちどおり

からくり時計
からくりどけい



高知観音堂
こうちくわんおんどう

高須
たかす

文珠通
もんじゅとちり

介良通
けいらとちり

新木
にしんぎ

東新木
とうしんぎ

鹿児
かじ

田辺島通
たべしまとちり

舟戸
ふなと

北浦
きたうら

領石通
りょうせきとちり

清和学園前
せいわがくえんまえ

一条橋
いちじょうばし

明見橋
みょうけんばし

長崎
ながさき

小籠通
こごめとちり

篠原
しのはら

住吉通
すみよしとちり

東工業前
とうこうぎょうまえ

後免西町
ごめんにしまち

後免中町
ごめんなかまち

後免東町
ごめんひがしまち

後免町
ごめんまち

菜園場町
さいえんばちやう

宝永町
ほうえいちやう

知寄町一丁目
ちよりのちやうめ

知寄町二丁目
ちよりのちやうめ

知寄町三丁目
ちよりのちやうめ

葛島橋東詰
かつしまばし

西高須
にしただかす

県立美術館通
けんりつびじゅつかんとちり

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

梅の辻
うめのつじ

高知市文化プラザかるぽーと
こうちしぶんかプラザかるぽーと



高知県立埋蔵文化財センター
こうちけんりつまいぞうぶんかざいセンター



南国市立図書館
なんこくしりつとしょかん



高知県立県民体育館
こうちけんりつけんみんたいいくかん



わんぱーくこうち



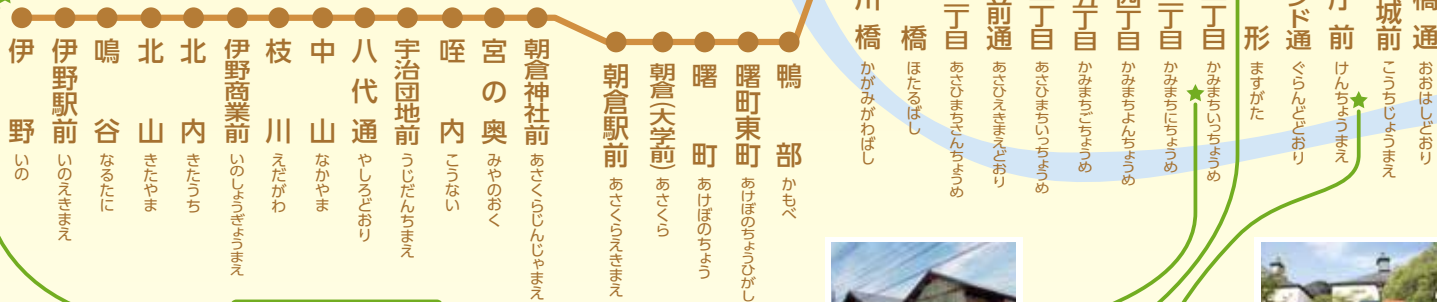
とさでん交通本社&車庫
とさでんこうつうほんしゃ&しゃこ



知って、乗って、好きになる!

わが町の路面電車

とさでん



高知城
こうちじょう



高知県立高知城歴史博物館
こうちけんりつこうちじょうれきしはくぶつかん



ひろめ市場
ひろめいちば



はりまや橋
はりまやばし

いの町紙の博物館
いのちやうかみのほくぶつかん



写真提供 / いの町紙の博物館



梶本神社
すぎもとじんしゃ

龍馬の生まれたまち記念館
りやうまのうまれたまちきねんかん



坂本龍馬誕生地
さかもとりやうまたんじょうち



高知市立自由民権記念館
こうちしりつじゆうみんけんきねんかん



山内神社
やまうちじんしゃ



明治37年に営業を開始し、現在も走る全国の路面電車の中で日本一長い歴史を持つ高知の路面電車。軌道は、高知市内の「はりまや橋」を中心に、東は南国市「後免町」へ延びる後免線、西はいの町「伊野」へ延びる伊野線、南は「棧橋通五丁目」へ延びる棧橋線、北は「高知駅」まで延びる駅前線の、全4路線から成り、全長253kmという軌道路線の長さも日本一!

主要都市から郡部まで軌道が続いていることは全国的にも珍しく、他にも歴史が古いからこそ見られる様々な光景が、全国の鉄道ファンを魅了し続けている。利用客数がピークであった昭和30年代から、自動車の一般家庭への普及に伴い利用客の数は年々減少傾向にあるものの、県民の足として走り続けること117年。高知の街をゆくりゴトゴト走るあの光景がどうかこの先も続きますように...そんな願いを込めて贈る、とさでんストーリー。

高知の路面電車を知って、乗って、好きになって、そして残して...!



県民の身近な乗り物

じやんとんを

知る

幾度となくやってくる
災害を乗り越えて

とさでん交通の長い、長い歴史の中にはいくつもの転換期、変革の時代があり、それに伴い経営体制、会社の規模、社名、本社の移転など、さまざまなる変化を繰り返してきた。天候に左右されることも多く、幾多の災害や緊急事態にも直面してきた。とりわけ、大きな被害を受けたのは空襲、地震、台風、水害など。昭和20年には高知大空襲、翌21年には南海地震と、歴史にも残る大きな出来事があり、社屋の焼失や車庫の水没など大きな被害に見舞われた。その後も昭和45年の台風10号では2億9000万円もの損害が、そしてまだ記憶に新しい平成10年の高知豪雨でも軌道の水没や故障などによって大きな影響があった。そんな事態が起こるたび、1日でも早い復旧を目指して社員一丸となって取り組み、多くの人の足を支えてきた。
減少する利用者…それでも「乗るきっかけづくり」に奔走
現在の年平均利用客数は約



- 1 明治37年5月2日の開業第1号電車。
- 2 明治41年に2両購入された、電動客車に連結されて走っていた付随客車。
- 3 大正13年9月に新葛島橋が旧橋(左側)のすぐ下流に完成。右は土電の専用鉄橋。
- 4 昭和3年、完成間近のはりまや橋交差点の様子。
- 5 昭和20年の高知大空襲で焼けたはりまや橋交差点付近。
- 6 昭和21年の南海地震で水浸しになった若松町の電車車両工場。
- 7 昭和45年の台風10号で電車車庫の辺り一面が水没した様子。
- 8 昭和40年代に高知駅前からはりまや橋方向を撮影した様子。
- 9 昭和53年5月、はりまや橋で撮影された「第2回電車の日」に運行した花電車。
- 10 平成10年の高知豪雨により沿線の木がなぎ倒され、線路を塞ぐ様子。
- 11 令和3年3月導入の超低床車両「ハートラムII 3002号」。現在全3両の超低床車両がある。
- 12 平成21年に導入された「ですか」。県内の路面電車・バス等で使用できる。
- 13 イベント時に会うことができるごめんくんとい〜のちゃん。

600万人、昭和37年のピーク時には年間で3300万人だったといふから、いかに電車が多くの人に利用されていたかが窺える。それと同時に、利用客の減少が著しいのも事実だ。そんな中、とさでん交通がこれまで取り組んできたたくさん新しい試み。「街中を走る」大きな車体」といふことに目を付け、いち早く車体を丸ごとラッピングする全面広告電車を導入したり、県外や外国で走っていた珍しいデザインの電車を譲り受けて走らせるなど、いろんな車両を取り入れ、利用客や沿道に行く多くの人の目を楽ませてきた。

そして現在は、日曜・祝日に路面電車、路線バスなどが無料になるキャンペーン(令和4年1月末まで)が行われており、他にも一般の方が参加できるイベントの開催や、子どもたちの車庫見学を受け入れるなど、県民との触れ合いも大切にしている。

製造から70年を超える車両を今でも大事に使っていたり、洗車は一両ごとに手作業で行われていたり、冷房設備が無い電車にはお詫びプレートを掲げ、時には家庭用のエアコンをつけて対応したり…。とさでん交通が当たり前に続けてきた多くのことが、逆に新鮮な印象を受け、たくさんの人に愛されるゆえんになっているのかもしれない。

高知の路面電車の歩みを振り返るとさでん年表

- 明治36年7月……………土佐電気鉄道株式会社創立
- 明治37年5月……………全国10番目の市街電車として営業を開始(本町潮江両線単線開通)
- 明治41年2月……………伊野線が全通
- 大正14年2月……………後免線が全通
- 昭和5年4月……………高知鉄道 後免-安芸間が全通
- 昭和27年3月……………市内均一運賃制度を導入
- 昭和44年2月……………車体広告電車運行開始
- 昭和62年12月……………本社・車庫を高知市棧橋通4・5丁目に移転
- 平成2年8月……………外国型電車運行開始
- 平成14年4月……………超低床電車「ハートラム」の運行を開始
- 平成21年1月……………IC乗車カード「ですか」を導入
- 平成26年4月……………バス・電車とも市内均一運賃区間運賃は200円に値上げ
- 平成26年10月……………新事業会社名が「とさでん交通株式会社」となり、新たにスタート
- 平成28年1月……………乗務員の制服をリニューアル
- 令和3年11月……………日曜・祝日に路面電車、路線バスなどが無料になるキャンペーンを実施(令和4年1月末まで)



とさでん交通 たてだかつし 電車事業部 立田勝利さん



昔も今も、これからも変わらぬ思いで

長い歴史の中で、私たち職員に脈々と受け継がれてきたことは「安全第一」と「お客さまに快適な電車時間を過ごしていただく」ということ。これは昔も今も、これからも変わらない、とさでん交通が一番大切にしていることです。利用客は減少傾向にありますが、それでも「とさでんが無いといかん」「あつて当たり前」と思ってくれる市民・県民が1人でも増えるよう、真心を込めた接客に努めて参りますので、ぜひ気軽にご利用ください。



路面電車の乗車中に「キーン」という騒音や、思いもよらぬ揺れに遭遇した人は少なくないだろう。その原因となるレールの保守を行うのが、矢野さんの所属する「保線係」。そしてその中で電車を折り返す重要な施設がポイント（分岐器）だ。ポイントはトンネルの先端が密着しないといけないため、ポイント転換や電車が走る妨げとなるレールにたまった機械油や、走行中の摩擦から発生する鉄粉などの汚れを拭き取り、摩擦防止オイルを

塗り込んでいく。それは、電車の運行やポイントの切り替えを円滑に行うための重要任務なのだ。その工程は気の遠くなるような作業の繰り返し。日々の業務は行き交う車と運行する電車のはざま。運行状況を見ながら電車が通るタイミングで立ち退き、電車が過ぎ去ったら再開。1日それを何度も繰り返しながら作業は進む。1日にできる点検箇所はといつと約20ヶ所ほど。路面電車で日本最長25・3kmの軌道距離を持つ高知の線路を考えると果てしなく続く保守。



矢野貴大さん

電車技術課保線係

幡多郡三原村出身。地元で電車は走っていないかったものの、県民の生活を支える「とさでん」に感激し、高校卒業とともに入社。先輩たちの期待も高まる若手社員。

25・3kmのレールを地道に保守



古いもので70年以上にわたって走り続けているという路面電車だが、その長寿の秘訣は清掃作業にある。仙石さんが見せてくれたのは、車体の顔ともいえるボディの洗浄だ。霧状の鉄粉洗剤を吹きかけ、デッキブラシで地道にこすり洗い。細かな汚れも見落とさぬよう、低い場所は腰をかがめ、高い場所は安全帯を装着してゴシゴシと磨き上げる。一見、車体の汚れを洗浄しているだけに見えるが、この作業こそが長寿の鍵を握る。電車のボディには

走る際の摩擦で飛び散った無数の鉄粉が突き刺さっており、その鉄粉は放置しておくとさびになる。このさびが電車の劣化を加速させてしまう。しかもこの鉄粉は、機械では落とし切れない車体の奥にまで入り込むため、手作業を強いられるから厄介。「体力も使うからこそ、送り出すときはやりがいを感じます。この時代に手作業かと驚いたけど、これやないといかんがですよ」。そんな裏方のガッツが電車の長寿を支えている。

仙石好識さん

有限会社 土電企業社
清掃スタッフ

高知市出身。入社歴、配属歴共に4年目。1日に約3両の車両清掃を行い、町へと送り出す。磨き上げる車体は、町を走る現役車両から車庫に眠るものまで様々。

裏方の手作業が電車の長寿を支える！



業界界隈の人なら誰もが知る電車愛好家



「電車が動く音、街中を走る風景、そのどれもが幼少期から生活の中に当たり前のようになり、気づけば大の電車好きになっていった」そう話すのは、高知県内外の愛好家から成る「高知の電車とまちを愛する会」で副会長を務める浜田さん。

この業界界隈の人なら誰もが知る電車好き。学校の教員でありながらも、学生時代から鉄道の専門誌に写真と文章を投稿するのが好きで、現在も日々の風景や活動をつづるブログの更新、イベント等の企画、取材対応など、路面電車をはじめとする公共交通の活性化のために尽力。本職を退いた後は、地域の子どもたちと公共交通に関わるボランティアをしたと話す。「路面電車好きが高じて今の活動がありますが、公共交通はすべて繋がっていると思うんです。路面電車、鉄道、バス、それぞれを点として見るのではなく『面』として捉え、全体が活性化していったほしい」。一生続くであろう電車愛と情熱に際限はない。

はまだてるお
浜田光男さん

高知の電車とまちを愛する会

高知市出身。「高知の電車とまちを愛する会」には、平成4年の発足当時から所属し、現在は副会長を務める。自他共に認める大の電車好き。本職は芸西中学校の教頭。

電車が交差点を曲がる!? 乗車中の「県民あるある」

高知では、線路が平面で交差する全国でもまれな「ダイヤモンドクロッシング」を、はりまや橋交差点で見ることができる。通常はこの交差点を中心に、南北・東西を走る路面電車だが、1日に数本だけははりまや橋交差点を直角に曲って運行する便がある。公文さんがその便に乗り合わせたのは、初めて電車を利用して学校から家に帰る下校時のこと。「大橋通」から後免「方面」へ向かうつもりで乗った電車が、なんと「はりまや橋」で方向転換。「高知駅

前」に向かっているではないか。当時、中学生だった彼女は見知らぬ場所へ走る車内で不安いっぱい。そんな彼女の様子に気づいた運転士さんが声をかけてくれ、乗り換え切符を使って無事に帰宅。「電車に別の行き先があるなんて全く知りませんでした。運転士さんの姿がとても身近に感じ安心しました」と話す、お茶目な公文さん。電車のヘビニューザーなら一度は経験したことがあるであろう県民あるある。乗車時の行き先チェックは忘れなく！



くもんゆめか
公文夢花さん

土佐女子高等学校
2年

女子教育119年の歴史を持つ「土佐女子中学高等学校」に中学校から入学。現在は生徒会で執行委員長を務め、より良い学校生活を目指し活動している。

600万人、昭和37年のピーク時には年間で3300万人だったといっから、いかに電車が多くの人に利用されていたかが窺える。それと同時に、利用客の減少が著しいのも事実だ。そんな中、とさでん交通がこれまで取り組んできたたくさん新しい試み。「街中を走る」「大きな車体」ということに目を付け、いち早く車体を丸ごとラッピングする全面広告電車を導入したり、県外や外国で走っていた珍しいデザインの電車を譲り受けて走らせるなど、いろんな車両を取り入れ、利用客や沿道に行く多くの人の目を楽ませてきた。

そして現在は、日曜・祝日に路面電車、路線バスなどが無料になるキャンペーン(令和4年1月末まで)が行われており、他にも一般の方が参加できるイベントの開催や、子どもたちの車庫見学を受け入れるなど、県民との触れ合いも大切にしている。

製造から70年を超える車両を今でも大事に使っていたり、洗車は一両ごとに手作業で行っていたり、冷房設備が無い電車にはお詫びプレートを掲げ、時には家庭用のエアコンをつけて対応したり…。とさでん交通が当たり前に続けてきた多くのことが、逆に新鮮な印象を受け、たくさんの人に愛されるゆえんになっているのかもしれない。



7



9



8



11



10



12



13

高知の路面電車の歩みを振り返るとさでん年表

- 明治36年7月……………土佐電気鉄道株式会社創立
- 明治37年5月……………全国10番目の市街電車として営業を開始(本町潮江両線単線開通)
- 明治41年2月……………伊野線が全通
- 大正14年2月……………後免線が全通
- 昭和5年4月……………高知鉄道 後免-安芸間が全通
- 昭和27年3月……………市内均一運賃制度を導入
- 昭和44年2月……………車体広告電車運行開始
- 昭和62年12月……………本社・車庫を高知市棧橋通4・5丁目に移転
- 平成2年8月……………外国型電車運行開始
- 平成14年4月……………超低床電車「ハートラム」の運行を開始
- 平成21年1月……………IC乗車カード「ですか」を導入
- 平成26年4月……………バス・電車とも市内均一運賃区間運賃は200円に値上げ
- 平成26年10月……………新事業会社名が「とさでん交通株式会社」となり、新たにスタート
- 平成28年1月……………乗務員の制服をリニューアル
- 令和3年11月……………日曜・祝日に路面電車、路線バスなどが無料になるキャンペーンを実施(令和4年1月末まで)

昔も今も、これからも変わらぬ思いで

長い歴史の中で、私たち職員に脈々と受け継がれてきたことは「安全第一」と「お客様さまに快適な電車時間を過ごしていただく」ということ。これは昔も今も、これからも変わらない、とさでん交通が一番大切にしていることです。利用客は減少傾向にありますが、それでも「とさでんが無いといかん」「あつて当たり前」と思ってくれる市民・県民が1人でも増えるよう、真心を込めた接客に努めて参りますので、ぜひ気軽にご利用ください。

とさでん交通
ただかつし
電車事業部 立田勝利さん



全国的にも超希少！ ダイヤモンドクロッシング

高知市のはりまや橋交差点は、線路が平面で交差する箇所が「ダイヤモンドクロッシング」と呼ばれ、全国に数カ所しかない非常に珍しい場所。電車のトリブルクロスが見られるのは平日の午前8時12分頃。通常ダイヤでは見られないが、運行状況により3両の電車が同時に交差点を曲がることもある。遭遇したらラッキー！

遭遇したら
えい事ありそう



04

重ね重ね「ごめん」！ 本気で謝る電車がある！?

冷房電車がデビューしたのは昭和55年。現在全63両のうち、冷房が完備されている車両は49両。南国・高知で、真夏に冷房無しの電車は正直きつい。そんな心の声が聞こえたか？冷房設備がない電車には「申し訳ございません」というメッセージプレートが車体前に掲げられる。しかもこれが後免行きの電車となると行き先を示す「ごめん」プレートと並んで「本気で謝る電車」になる。これは許さざるを得ないかも？

05



ごめんって
言やん

あの！人気女優とも 一緒に走った！

徳島県に本社を構える大手企業のCMにも起用されたことがある路面電車。国民的人気女優が、路面電車と一緒に田園風景を駆け抜けるシーンを覚えている人も多いのでは？ロケ地となったのは高知市大津甲で、後免線の「長崎」と「小籠通」間の国道195号線。当時はあの光景を真似する人がいたとかいないとか…

爽やかな
CMやったね～



※写真はロケ地周辺を走る電車

07

電車を丸ごとラッピング！ 存在感抜群の全面広告電車

車体を美しいカラーで彩色した全面広告電車が走り始めたのは昭和44年2月23日。その日デビューしたのは、テレビや洗濯機など新製品の広告を載せた603号で、関係者らが見守る中、土電プラスチックバンドの演奏と共に華々しくスタートした。今もなお、いろんな広告を車体に載せた電車が走っている。



※写真は昭和53年に登場して話題を集めた「顔電車」

06

派手な電車も
目立ってえいろう？

74年

現在一番長く走っている
電車の年数

30円

昭和45年当時の
市内区間運賃

22人

電車を修理する
人たち

14人

線路を補修する
人たち

約1万6000人

1日あたりに利用するお客様の数
(2019年度)

10人

電気を送る人たち

156ヶ所

上り下りの停留場の数

100人

電車を動かす人たち
(運転士など)

電車に
まつわる数字
いろいろ

多い？ 少ない？
まあ見て
いろんな数字！

08



とさでん 端っこ駅 History ヒストリー

始着・終着駅の物語

高知市内を起点に、東西南北を結ぶとさでん。全部で76ある駅の中から西の端っこ、伊野駅にまつわる話をお届け。

救世主となった路面電車 伊野の製紙業発展を後押し



明治41年2月に伊野線が全通。線路の北側にある陸内坂は、まだ馬車や人力車などが通っていた。

高知の産業発展に大きな影響を与えてきた路面電車だが、伊野町(現いの町)の製紙業を downstream していたのをご存知だろうか。明治の初期、伊野は製紙と原料の集散地として急速な発展を遂げたものの、当時は輸送手段が馬車や手押し車しかなく、港まで運ぶのにも一苦労。中でも莫大な輸送費がかかることが一番の悩みの種だった。「聞いた話では、伊野から港までの輸送料と、港から京阪神までの輸送料がほぼ同じだったそうです。それでは儲けが薄くなってしまいますよね」。そう話すのは、50年以上にわたって紙関係の職に従事し、現在は「いの町紙の博物館」に勤める池典泰さん。ピーク時には高知県内に5000〜6000戸の紙屋があり、そのうちの1000戸以上が伊野町及びその周辺に集中していたというから、新たな輸送



現在の伊野駅。周辺には商店や民家が立ち並ぶ。

手段が求められたのは必然のことだった。

そんな紙の町の救世主となったのが路面電車だ。明治41年に伊野線が全通したことで紙を乗せた貨車を棧橋まで直送できるようになり、そこから船で京阪神へ輸送。これまで多大にかかっていた港までの輸送費を大幅に抑えることができるようになった。そんな状況も後押しし、伊野の製紙業は明治の中頃から大正の終わりにかけて日本一の生産量を誇った。伊野の、そして高知県全体の経済発展も後押しした影に、路面電車の存在がある。



取材協力:いの町紙の博物館

写真提供:いの町紙の博物館

私が知っている
端っこ駅の
昭和の風景

昭和28年頃の話です。当時、車掌をしていた中で特に記憶に残っているのが、棧橋での朝の風景。御豊瀬などのおかみさん達が巡行船で棧橋まで来て、そこから電車に乗って高知市内まで行商に行くんですが、おかみさん達の元気な声、そして干物特有の匂いに車内が包まれるんですよ。また、ごめんでは安芸線からの乗り継ぎがある高知市内行き電車は、車内に収まりきれないほど多くのお客さんが乗っていたこともありました。昭和の懐かしい記憶です。

やまもとじゅんいち
山本淳一さん

とさでん交通のOB。昭和28年、18歳の時に土佐電気鉄道(当時)に入社し、平成3年まで勤める。現在は「高知の電車とまちを愛する会」に所属。



とさでん交通が保有する電動客車62両、
電動貨車1両、全63両の中から車両を形式別に紹介。

・歴代車両コレクション・

■100形

老朽化が進んだ電車の置き換えのため、平成14年に導入された低床車両。沿線などから愛称を募り「ハートラム」と命名された。



私が特に思い入れのある車両は…

国家試験合格後に行われる社内試験の際、最終日の前日に乗った200形の205号車。この車両に乗ると今でも初心に戻ります！

電車事業部
おがぞえ きよし
岡添聖志さん



■600形

昭和32年～39年に製造された600形は、車両数が29台と最も多い主力車両。製造が7年に渡って行われ、窓や台車などに細かい違いがあるのでよく見比べてみて。



■2000形

車体の老朽化が進んだ200形電車の代わりに新造された2000形。2001号車は行き先の表示が字幕式なのが特徴。



■590形

真っ赤な装いが印象的な590形は、名鉄で走っていた車両を譲り受けたもの。車齢60年を超えているものの、幾度かの改造を重ねて今も現役。



■1000形

昭和56年に製造され、同年12月より営業運転を開始。前面窓が1枚窓になっているのも特徴のひとつ。

■700形・800形

山口県の「山陽電気軌道」向けとして製造されたが、昭和46年の路線全廃に伴って土佐電気鉄道が譲り受けた。700形、800形ともに外観上の差異はほとんどない。



■7形(維新号)

明治38年に製造された7形(オリジナル)を、昭和59年に復元したレプリカ。翌60年に「維新号」の愛称が付けられた。



■200形

昭和25年～29年に製造された200形電車は、とさでん交通が保有する日本製の車両で一番古い形式。中でも最も古い201・202号車は製造から70年となり、人間という古希を迎えた。



■1形(貨車)

昭和27年に自社工場で製造された木造の車体を持つ工事用電動貨車。現在は主にイベント告知などに利用。よさこい期間中は花電車としても人気。



※イベント時や貸切電車として運行

・外国電車 ※イベント時や貸切電車として運行

■198号(ノルウェー・オスロ市電)



昭和14年に製造され、昭和60年までノルウェー・オスロ市内を走っていた。現在この車両は世界に3台しか残っており、平成4年より高知で走っている。

■320号(オーストリア・グラーツ市電)



昭和24年に製造され、オーストリアのグラーツ市を走っていたクラシック電車。平成5年から高知の街を走っている。

■910号(イギリス製・ポルトガル市電)



昭和22年にイギリスで製造され、ポルトガル市電でリスボン市を走っていたボギー車。高知にやって来たのは平成2年。

観光客も
必見!

乗って楽しい とさでん 旅

街並みや名所を楽しむ小さな旅



鏡川橋 ←…… 高知駅

電車から見える
高知の名所や街の景色を
楽しめます♪

乗ってみた人
みずのちひろ
水野智尋
さん

のんびりゴトゴト
景色も名所寄り道も楽しもう!

日々の生活の中での利用をはじめ、ちょっとしたお出かけにも便利な路面電車。高知県民はもちろん、観光客にもたくさん利用してほしいと、改めてその便利さや楽しさをお伝えすべく、小さなおとさでん旅へ出発。体験した水野さんは、学生時代こそ頻りに路面電車を利用していたものの、社会人になってからは車利用がメインに。しかし今回、久しぶりに路面電車に乗ってみると、普段見慣れた景色が新鮮に見えたり、車窓から高知の名所がたくさん見えたりと、新たな発見もたくさん。「懐かしさと新しさ、両方の気分を味わえました」と楽しんだ様子。

01



出発しまーす
「高知駅前」からスタート
旅のはじまりは「高知駅前」。高知駅南口を出てすぐの正面に停留場があり、屋根続きなので雨の日も安心。

05



はりまや橋で乗り換え
そして停留場の「はりまや橋」に到着。乗り換えで降車する際は、運賃200円を支払い乗換券を受け取る。

02



南北を走る電車に乗る
乗り換えをする「はりまや橋」を目指して「棧橋通五丁目」行きの電車に乗る。「学生時代はこの路線によく乗ってました!」

03



車窓から見るはりまや橋
電車に揺られること数分。窓の外に見えるのははりまや橋。道路や歩道からではなく、電車から見ると何だか新鮮。

04



名物・からくり時計も!
はりまや橋の反対側にはからくり時計が。音楽が流れてからくりが動き出す、ちょうどのタイミングに遭遇!

06



乗り換え駅へ移動
徒歩1分ほどの距離にある停留場「デンテツ・ターミナルビル前」へ移動。

ゆっくり走るから
景色も楽しめます♪



とさでん×桜



高知市大津乙の「鹿児神社(かこじんじや)」近くの桜並木。他にもとさでんの軌道沿いには桜スポットが点在する。

とさでん×花火



大輪の花火をバックに走るとさでん。写真は鏡川河畔周辺に上がる花火と、知寄町行きの614号。

とさでん×空



ブルーインパルスが空に描いた五輪の輪ととさでんを捉えた、滅多にお目にかかることのできない1枚。

とさでん×街並み



棧橋線を走るハートラムII。営業路線で全国初となった軌道敷緑化は平成14年の高知国体開催に合わせて実施された。

とさでんが
走る風景

こじやんと絵になる!
高知の街並みや四季の
風景の中を走るとさでん。



電車では読書を試してみたり...

12



贅沢な貸切空間

気づけば最後の1区間のみ貸切状態に。混み合う時間でなければこんなにラッキーに遭遇することも。

13



目的地へ到着

今回乗った電車の終点「鏡川橋」に到着。先に料金を支払っているの、乗換券を料金箱に入れるだけでOK。

14



乗車した感想は？

「ゆっくりゴトゴト走る感じが久しぶりに体感できて楽しかったです。また高知の名所近くをたくさん通るので、観光にもピッタリですね!」

11



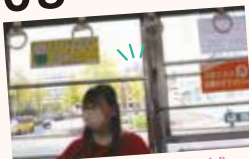
降りる際はボタンを

電車に乗っている間、頻繁に鳴る「次とまります」のサイン。降りる際は目的の停留場前でボタンを押す。

途中下車もおすすめ
改めて路面電車の良さを
体感できました♪

高知の名所もすぐ近く。

08



見上げた先には高知城

そして乗車して数分、後ろに見えて来たのは高知城。途中下車して名所観光する場合は1日乗車券が便利おすすめ。

07



次は「鏡川橋・いの」方面へ停留場に移動してすぐ、「鏡川橋」行きの電車が見えてきた。

09



坂本龍馬ゆかりの地も

高知城を過ぎて数分走れば、坂本龍馬生誕地が。ここからすぐの場所に「龍馬の生まれたまち記念館」もある。

10



後方の窓から見える景色

後ろの方の席に座れば線路が伸びる街中の景色をゆっくり見ることが出来る。

電車運賃

高知市内均一 200円
※同伴者(大人または小児)1人につき、幼児2人まで無賃
問/とさでん交通株式会社 電車輸送課 088-833-7121

電車一日乗車券

はりまや橋サービスセンター、とさでん交通(株)
機橋窓口などで購入可能。県内の各施設で一日乗車券有効日に限り割引特典を受けることもできる。
軌道全線有効:大人1000円、小人500円
市内区間有効:大人500円、小人250円
問/とさでん交通株式会社 電車輸送課 088-833-7121

高知プレミアム交通Pass(県外や公共交通ファンの方向け)

電車、バス、JRが3日間乗り放題になるチケット
東エリア9000円、西エリア1万2000円 問/高知西南交通プレミアム交通Pass窓口(0880-34-6221)

高齢者おでかけ支援定期「おでかけ電車65」

対象は65歳以上の方で、電車全線で利用可能。
3ヶ月1万8400円、6ヶ月3万3600円。
問/はりまや橋サービスセンター 088-882-0119

路面電車・路線バス無料デー

期間/令和3年11月3日(水・祝)~
令和4年1月30日(日)の日曜・祝日と、
令和3年12月30日(木)~令和4年1月3日(月・祝)
利用方法/乗車時に整理券を取り、降車時に指定の回収箱に入れる
問/はりまや橋サービスセンター 088-882-0119

キャンペーン
開催中!

とさでん×高知城



背景に高知城が重なる絶好の撮影スポット。高知の名所や景色の中に自然に溶け込む風景もまた素敵。

とさでん×ヒマワリ



高知市上町五丁目付近に咲いたヒマワリ越しに見るとさでん。季節ごとの草花を車窓越しに眺める楽しさ。



土佐 旬と地域と人 よみた しらたから



今回の
食材

【クジラ】

牛肉や豚肉が手に入らなかった時代に、広く流通していたクジラ肉。土佐湾での捕鯨が盛んだったこともあり、昔から高知ではクジラがよく食べられている。

場所 北海道、宮城県、千葉県、和歌山県など

旬 10月～1月

土佐湾における捕鯨の歴史は江戸時代初期～昭和11年まで続いた

貴重なタンパク源から
希少な珍味へと歴史を紡ぐ
高知に根ざした食文化

土佐湾で江戸時代から昭和初期まで盛んに行われた捕鯨の歴史は300年以上にわたる。年越しに大物(大きい物)を食べると縁起が良いとされ、大晦日が近くと決まって魚屋の店頭にクジラが並び、「暮れの煮物」と呼ばれるクジラの煮物を食べた。

今回ご紹介するのは、越知町の大平地区で食べられている『大平カブ』を使ったクジラの煮物。土の上に出ている部分が紫色をしていることから、昔は『紫かぶ』と呼ばれた郷土野菜で、鮮やかな紫色と風味の強さ、煮崩れしづらいという特徴があり、煮込み料理にぴったり。昔の人は、クジラの赤身が柔らかくなるまで、囲炉裏やストーブの上でコトコト煮込んで食べたという。心も身体もあたたまる冬にぴったりな郷土料理だ。

▶用意するもの(2人前)

皮クジラ.....100~200g
 大平カブ.....大1/4個
 ニンニク葉.....1束
 水.....500ml
 砂糖.....小さじ1
 みりん.....小さじ2
 酒.....小さじ1
 醤油.....小さじ2
 塩.....ひとつまみ



2



材料



3-1



1



3-2



4



5

- 1 皮クジラを2cm程の短冊切りにし、軽く水洗いする。
- 2 クジラと水を鍋に移し、沸騰したらアクを取り、弱火で身が柔らかくなるまで、30分程煮込む。
- 3 大平カブは皮をむかず、根の部分のみ包丁で取る。4等分し、厚さ1.5cm程のいちょう切りにする。
- 4 カブの葉とニンニク葉は3cmの長さに切る。
- 5 3に4と、砂糖、みりん、酒、醤油、塩を加える。鍋にフタをして、カブが柔らかくなるまで弱火で10分程煮込めば完成。

おたからレシピ

ひとくちメモ

牛肉や豚肉がほとんど流通してない時代、日常的に食べよったのがクジラ。昔は乾燥クジラが一般的やったけど、今はあんまり見かけなくなってしまったね。乾燥させたら、中が空洞になって身が膨らむき、プリッとした食感になるがよ。大豊町では、タケノコと一緒にクジラを煮る料理もあるがやき。

もりした さなえ

【レシピ案内人】森下早苗さん

大豊町出身。結婚を機に越知町へ移り住むこと38年。越知町で文旦や山椒の栽培を行う傍らで、越知町の農協女性部の役員を務めている。

クジラと大平カブの煮物



まだまだある！「クジラ」を使った料理

【クジラとタケノコの煮物】

大豊町で昔から親しまれている家庭料理。クジラ特有のうま味がタケノコによく染みて、ご飯やお酒と相性ぴったり！

【ハリハリ鍋】

クジラ肉と水菜を使った鍋料理。使用する部位は脂身や赤身など、それぞれ違った食感が楽しめる。脂が溶け込んだつゆも絶品。

土佐の

技

植物学者・牧野富太郎の愛した「百合羊羹」を先代から引き継ぎ、今なお提供している「福留菊水堂」の2代目・福留章夫さん。「四季の場面ごと」に切り取った景色を作れるのも魅力の一つ」と話す章夫さんが手がける和菓子は、創意工夫が凝らされ、どれも四季の移ろいを感じられる。今まで作った和菓子の種類は約300種類にのぼり、

平成27年には「土佐の匠」に認定。それでも、決しておごることなく、作り手の思いが味や舌触りに大きく影響すると「笑顔」で作ることを最優先する。「和菓子は人を穏やかな気持ちにしてくれます。お子さんから大人までもっとたくさんの方に、和菓子を自ら作って、知って、食べてほしいです」と頬を緩ませる。



土佐に息づくさまざまな職人技。伝統の傍らに、常に新しい展開があることも、土佐らしい特徴の一つだ。今回は、土佐の和菓子をテーマに、いざ、温故知新！

約300種類の和菓子を手がける土佐の匠

たくみ



福留菊水堂2代目

ふくどめ あきお

福留章夫さん

茶事に合わせた趣向の和菓子を手がけるだけでなく、地元の学校へ体験教室の講師として赴き、和菓子の魅力を子ども達へ広めることにも尽力している。



実際に和菓子作りを体験してみた！

今回は、老舗和菓子屋「松鶴堂」にて和菓子作り挑戦。教えてくれたのは、「和菓子を身近に感じられるよう、体験を通して魅力を広めたい」と話す3代目の松岡幹幸さん。京都の老舗京菓子司である「末富」での修行歴を持つ実力派の和菓子職人だ。そんな松岡さんのレクチャーのもと、「紅葉きんとん作り」を体験。道具は「きんとんぶるい」という漉し器。「ゆっくりやると手の熱でお菓子が溶けてしまうので難しいけど、彩りがきれいで楽しい！」。和菓子は四季に合わせて素材や色味が変わり、自身の手で作ることで、より趣深く感じられる。実際に自分で作った和菓子の新たな魅力を体感した。

土佐の技を体験
ワカモノ
副音声

体験者：つかはら夫婦

YouTube

「つかはら夫婦」で検索！



温故知新

今回のテーマ

和菓子

和菓子を高知に根付かせたい

「変わらないものと変えるもの
のバランスを取りながら和菓子
作りをしています」と話すのは
「松鶴堂」の3代目・松岡幹幸さ
ん。和菓子職人の道を志したきつ
かけとなった、京都の和菓子司
「末富」の山口富蔵^{やまぐちとみぞう}さんの元で5
年間修業した後、地元である高知
県に戻って3代目を継承。伝統を
重んじながらも新たな変化を加
え、日本の四季を感じる繊細な

菓子を数多く手がけている。和菓
子分野において後進県にあたる
高知県で「和菓子がお酒文化と同
じくらい根付き、贈り物の選択肢
の一つになってほしい」と願う松
岡さん。和菓子を身近に感じても
らえたらと、地元の学校で和菓子
の体験教室を主催したり、観光客
や外国人が多く立ち寄りのお寺の
体験プランに参加するなど和菓
子のPRに尽力する。



のれん
暖簾をくぐると和菓子の
ショーケースがあり、そ
の横には喫茶スペース。
訪れた人が気軽に
和菓子を楽しめる場を
作っている。



松鶴堂3代目

まつおか もとゆき

松岡幹幸さん

昭和29年から代々続く「松鶴堂」の
3代目。京都の老舗で学んだ経験を
生かした和菓子は、自然の情景・味
覚とさまざまな表情を見せてくれる。



完成した紅葉きんとんがこちら。黄と
紅のそぼろが、深まる秋を感じさせ
てくれる。



指の上で転がしながら、お箸でそぼ
ろをつけていく。指の温度で餡が溶
けるため、スピードが大事な作業。



黄と紅の2種類の餡を漉し、出来上
がったそぼろがこちら。色や素材が季
節によって変わるのも魅力の一つ。



素材となる餡を「きんとんぶるい」で
漉していく。見た目や口当たりが変
わるので一気に行うことが大切。

自然博物

ミステリ+ハンター+

ハンターくん

高知県の不思議な自然博物を探検！相棒はカワウソのオッター。



今回の調査は

土佐清水市「竜串海岸」に行く！



令和3年9月、日本ジオパークに認定された土佐清水ジオパーク。はるか昔から大地の営みが活発に行われてきたこの地は、神秘的な景観が多く残り、今もなお、変化を続ける。



珍しい形の岩の中に閉じ込められた大地の変動の記憶を感じ取ってほしいです。



不思議を案内してくれるのは…

土佐清水ジオパーク専門員
どいけいじ
土井 恵治さん

三重県出身。長年気象庁で培った経験と知識を生かし、現在は土佐清水ジオパークの地形・地質について、情報発信を行っている。



徒歩で行ける竜串海岸は、約30～40分ほどかけて一周することができます。国立公園に指定されており、地層を削ったり持って帰ったりするのは厳禁だ。



自然フシギ発見

白山洞門の花崗岩

●はくさんどうもんのかこうがん



足摺岬は1300万年前頃、マグマが冷えて固まった花崗岩できている。ここでは、写真のように肉眼で見て分かるほど大きな卵型の結晶を有する「ラパキビ花崗岩」が産出する。ラパキビ花崗岩は、北欧の10億年以上前の古い地層ではよく発見されており、古くから建築材に使われていたが、日本ではここでしか見られない。また、新しい時代にできたものとして、世界的にも珍しく研究者達からの注目度も高い。足摺岬の西側に位置する海蝕洞・白山洞門付近では、ラパキビ花崗岩がよく見つかるが、国立公園なので持ち出しは厳禁だ。

花崗岩の海蝕洞としては日本最大級の白山洞門は、高知県の天然記念物に指定されている。



地震による海底地すべりでできたと考えられる「欄間石」。



スナモグリが生息していたであろう巣穴の痕跡。



蜂の巣状の穴が連なる不思議な砂岩「タフオニ」。

神秘的な「電串海岸」のミステリー 今もなお、変化を続ける大地の秘密

土佐清水の海岸沿いに見られる地形のミステリーを解き明かそうとハンターくんが訪れたのは、地質の博物館と名高い「電串海岸」^{たくしきいがん}。令和3年9月に日本ジオパークに認定された「土佐清水ジオパーク」の中でも、神秘的な光景が広がるエリア。

底で積み重なってきた岩からなる電串海岸は、幾度となく発生した地震の影響で、地すべりや液化化現象が起こり、地層が変形。その後、長い年月を経て打ち寄せる波が少しずつ岩を削り今のような神秘的な景観が形成されていった。岩の中に浸み込んだ海水に含まれる塩が結晶となるとときに岩の隙間を押し広げ、やがて岩肌に無数の穴を開けるように。これらは今もなお変化し続けており、長年、電串海岸を見てきた住民は「数十年前と比べると、少しずつ岩の形が変わっている」と話す。その他にも、生物が生きた証である生痕化石^{せいこんかせき}も多く見つかっており、激動の時代を生き抜いてきた生物の気配を感じることも。神秘的な景観の成り立ちには、大地の歴史を紐解く^{ひもとく}壮大な秘密が多く隠されていた。



プライム トラング

次世代を担う
若者たち

高知の風土に育まれた「土佐人」たちは
今日もそれぞれの分野から「土佐の風」を発信
そこに新たな文化を重ねながら…

GUEST

鉄道愛好家

や の じ め ん じ

矢野 純司 さん

昭和55年生まれ。高岡郡佐川町出身。子どもの頃から鉄道が暮らしの中にある環境で育つ。現在も、燃料を取り扱う地元企業で働く傍ら、熱心な鉄道愛好家として活動。高知県の鉄道に関する豊富な知識を持っている。

県民の一人として
暮らしの中にあつた
鉄道への愛着

燃料を取り扱う地元企業の会社員。それが矢野純司さんの肩書きだ。ガソリンスタンドで給油の接客をすることもあれば、タンクローリーを運転することも、運送業者や生産者といった大口の燃料需要者のもとに足を運び、燃料に関する提案などの営業を行うこともある。それらは確かに大変な仕事に違いない。しかし、「ありふれた高知県民の一人」と言われれば、その通りかもしれない。

そんな矢野さんだが、実は、もう一つの顔がある。それが「鉄道愛好家」という顔だ。「子どもの頃から鉄道が暮らしの中にあつた」と言う矢野さんは、鉄道への憧れと共に育つた。青春時代には、話題になった数多くの鉄道イベントや、有名な鉄道写真家とも関わってきた。現在でも、熱心に鉄道旅に出かける。しかし、あえて鉄道に関連する仕事には就かないと決めて、愛好家としての楽しみを守っているという。そんな矢野さんが、ありふれた高知県民の一人として見つめてきた、高知の鉄道の魅力を語ってくれた。

高知の鉄道を愛する県民として これからも走り続けてほしい

鉄道とともに育った 田舎の少年時代 懐かしい鉄道風景

「この車両の組み合わせが来たから、いまは14時だ」といった具合に、鉄道を時計代わりで見たのだから。

「子どもながら、漫画より時刻表を読むことが好きだったんですよ」と話す矢野さん。

それほど身近だった鉄道だが、それでいて、遠方への憧れを感じられることも鉄道に惹かれた理由のひとつという。「鉄道は、自分が行きたいと思えば知らない土地にでも連れて行ってくれる。子どもながらに、わくわくしていました」。小学生の頃には、地元の駅で「子ども駅員」としてお手伝いを開始。

高知の鉄道を これからもずっと 好きでいたいから

た坪内さんのもので、時には全国から手配する列車を四国で走らせた。鉄道ファンが列車を貸し切り、それがつつがなく運行できるように、鉄道会社も心を砕いてくれる。当時は、そうした時代だった。

民として応援できることを考える矢野さん。「やはり、まずは乗ることだと思います。日常的な利用だけでなく、子どもを乗せてあげたり、観光列車に乗ってみたり。乗車する機会を持てば、鉄道にも関心を持てるようになりますよね。それにも、もし鉄道に乗って楽しかったら、友人などに「鉄道もいいよ」と伝えること。そうやって『地域に鉄道がある価値』をそれぞれが認められたら、きっと高知の鉄道は、走り続けられると思います」。

間でも、腕時計なんか持っていないませんでしたから、走ってきた列車を見て時刻を知っていたものなんです」と話す。当時は国鉄だったこともあり、現在よりも走っている車両の種類が豊富で

時、坪内さんは高校生だったが、駅に立つ矢野さんと連絡先を交換。それから、鉄道愛好家の一人として、鉄道イベントなどに誘ってくれるようになった。矢野さんの鉄道の世界は、これを機に大きく広がる。四国で貸切列車のイベントを手がけるようになった

美政さんのイベントとして、矢野さんの大きな話題を呼んだイベントもあった。



た坪内さんのもので、時には全国から手配する列車を四国で走らせた。鉄道ファンが列車を貸し切り、それがつつがなく運行できるように、鉄道会社も心を砕いてくれる。当時は、そうした時代だった。

忙しい日々の中、現在でも鉄道旅を楽しむ矢野さん。休日が高知駅の始発列車に乗り、1日中列車に揺られることを楽しむ。少年時代と比べれば、高知の鉄道も、座席シートの仕様やICカード対応など都会的になってきた。それでも、昭和20年代に走っていた骨董品のような車両を、いまでも大事に運行させて、どこかゆったりとしている高知の鉄道に変わらぬ愛着を感じる。

鉄道をはじめ、公共交通機関の維持が危ぶまれてい



る昨今。高知の鉄道に「これからも存続してほしい」という思いから、県



FM高知で毎週金曜放送中のラジオ「ブライムトーク」に出演した時の矢野さん。矢野さんの出演回は12月24日、12月31日の2週にわたってオンエア。



昔々にあったとさ

「名物男の桂さん」



高知市

町の人気者



明治のころの高知の人気者は、葛島の桂さんだが、昭和の初めの町の人気者は「その関係」という男。彼は下駄のハガエ屋の息子で、ハガエの注文をとるのが仕事。近ごろハガエの注文がない、なんてか言うたら深靴が出来たき“その関係”よと小指を出すのが彼のオハコ。「関係よ、嫁さんもらわんか」「いらん、おかやんがおるきに」「アハハ、その関係か。こんなやりとりの中、ハガエの注文が集まり、彼は一躍、町内の人気者となった。

明治のころ葛島に、桂さんという名物男がおったが、ひいとい五丁目の車場で人力車をやとい「西へやっとうせ」とやった。車ひきはえい客にありついたら走り出したと。

伊野、日下をすぎ、佐川の町へ入ると日が暮れ、斗賀野峠の茶屋で提灯を買って走った。須崎へ着いたころには、もうとっぷりと日は暮れちよった。車ひきはなにしろ十里の道を走ったもんじゃき、もうへトへトよ。

「旦那はん、まだ西ですか」「もう良からう。おろいとうせ」

いうので、車からおろすと桂さんは「オオキニいうて、突っ走るき、車ひきがあわてて車代を請求すると「アルテ」（なるほど）いうてまた走ると。

「旦那、冗談いわんと払うとうせや」と、詰めよると、「大アリじゃ」（しごく同感）いうと。ほんで、たまりかねた車ひきは、桂さんの胸ぐらをつかむと、

「こりやまた、上じゃ」（上出来）いうて、しゃあしゃあとした風よ。

そこへぼつちり捕亡さん（※1）が来たき「私しやこの人を高知からつんできましたが『アルテ、大アリじゃ、こりやまた上じゃ』いうて車賃を払うてくれませんと」と車ひきが訴えると、捕亡さん提灯で桂さんの顔を照らして、

「おまんこりや葛島の桂さんいうて名物男じゃ」

「じゃいうて、車賃を払うにやよばんという法はありますまい」

捕亡さん桂さんを調べたが一銭もない。その傍らで、桂さん元の車へ乗って、「高知へいとうせ、こかしよう（※2）面白うなさしうし、車ひきは、

「あしもしう面白うない」

いうて泣きだしたと。まっこと泣こうち笑えん話よのう。

（※1）捕亡さん…明治初期に全国に設置された地方官で罪人を捕えることを任務とする判任官。

（※2）こかしよう…ここは本当に

出典 土佐おもしろ人間烈伝 著者 市原麟一郎

天衣無縫に生きた土佐おどけ者の生き様に惹かれ「近代土佐における、おどけ者の探求」を行い、数々の民話を発行。そんな市原麟一郎氏が惹かれたおどけ者は「いこっそう」「どくれ」「ひょうげ」「そそくり」「かんりやく人」「のかな奴」「おっこうがり」「てんこのかあ」「ごどうもん」など。

応募締切
令和4年3月20日

とさぶしからの贈り物

3



とさでん交通 株式会社
ハートラムⅡ
グッズセット 3名様

超低床式電車ハートラムⅡ(3001号)のグッズ。ボールペン、シャープペン、メモ帳、クリアファイル、説明書の5点セット。

4



株式会社わらびの
ふるさとの台所
3名様

高知の町や村で受け継がれてきた旬の食べ方250食を収録。平成28年に復刊し重版出来となったベストセラー。

1

松鶴堂
鮎のかほり(5個入り)
3名様

四万十川の鮎をイメージして作られた見ても楽しいゆず餡入りの最中。創業当初から続く松鶴堂の銘菓をぜひご自宅で。



2

福留菊水堂
百合羊羹
3名様

植物学者・牧野富太郎も愛した「百合羊羹」。創業から受け継がれてきた、口あたりが優しく、百合根が香る羊羹。



たいさんの応募
お待ちしております。

クイズとアンケートに答えて読者プレゼントに応募しよう!

クイズ 外国型電車の運行が始まったのはいつ?

- 1 スマホから左のQRコードを読み込んでwebサイトにアクセス
- 2 応募フォームより、必要事項を明記し、読者プレゼントに応募する



※読者プレゼントの応募は「とさぶしwebサイト」もしくは、官製ハガキから応募できます。官製ハガキで応募される場合はお名前・発送先のご住所・お電話番号・ご希望のプレゼント番号・クイズの解答・とさぶしを読んでのご意見やご感想、今後見てみたい特集テーマをご記入の上、下記の宛先まで締切日(令和4年3月20日)必着でお送りください。 〒781-0081 高知市北川添10-15 株式会社ほっとこうち



A BRAND NEW CHAPTER @KOCHI
TOSABUSHI

とさぶし

web
リニューアル!
見てちや!

<https://tosabushi.com>



facebookもやっています!

<https://www.facebook.com/tosabushi>

発行

高知県文化生活スポーツ部文化振興課

〒780-8570 高知市丸ノ内1丁目2番20号(本庁舎5階)

Tel 088-823-9793 Fax 088-823-9296

E-mail 140201@ken.pref.kochi.lg.jp

発行日: 令和3年12月29日(季刊)

企画 とさぶし編集委員会

制作 ほっとこうち

バックナンバーの入手方法

お近くに配布先がない場合は、送付を希望されるバックナンバーの号数と部数、送付先、氏名、連絡先(電話番号)をご記入のうえ、送料分の切手をお送りください。受取次第、発送をいたします。

※連絡先は、バックナンバーの在庫がない場合や切手の過不足があった場合などに使用します。

【送料】

1冊 140円

2冊 180円

3冊 215円

4・5冊 310円

6冊以上の場合は、一度ご連絡ください。

お問い合わせ・送付先は、

高知県文化生活スポーツ部文化振興課(上記)まで。



このパンフレットは宝くじの収益金の一部で作成しています。

特集

知って、乗って、好きになる!

わが町の路面電車 とさでん

P02

P04

とさでんを知る

P06

支える人に会いたい

P08

とさでんの豆知識

P10

端っこ駅のヒストリー

P11

歴代車両コレクション

P12

乗って楽しいとさでん旅

連載

P14

土佐おたからレシピ【クジラと太平カブの煮物】

P16

土佐の技 温故知新【和菓子】

P18

自然博物ミステリーハンター【竜串海岸】

連載

P20

プライムトーク【矢野純司さん】

P22

昔々にあったとさぶし【名物男の桂さん】

P23

とさぶしからの贈り物

次号予告

「高知のお花」

令和4年3月31日発行予定です。

お楽しみに!

※内容は変更になる可能性がございます。予めご了承ください。